

信頼と行動力!!

さいとう万紀子

政策集



市議会議員7年間の取り組みと実績

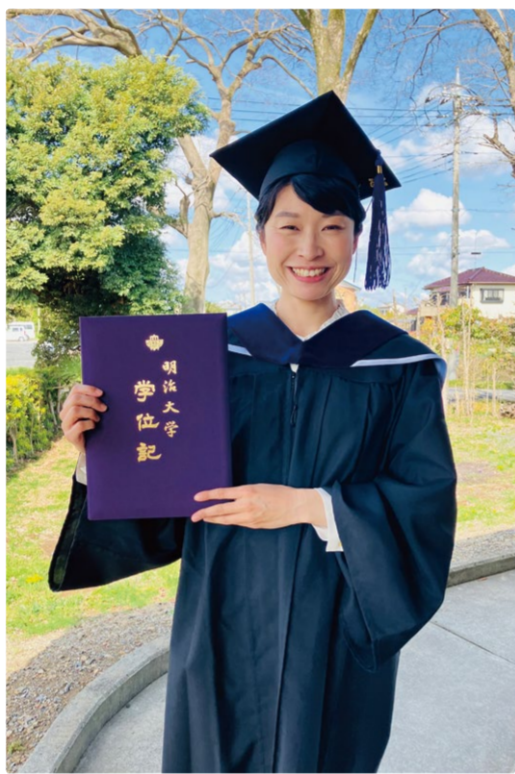
- 1 のりあいタクシーの導入
議会で提案し、アンケートや要望を行うことで導入が実現しました!
- 2 須影小学校の大規模改修の実現
総務文教委員長として「老朽化した学校設備の改修」を議会で提言、R8年度から本格的な改修が始まります!
- 3 イネカメムシ対策の拡充
- 4 給食日数の増加と一部無償化の実現
- 5 「羽生市人材育成方針」の改定
- 6 中学校への議会出席講座の実現
- 7 小学校トイレの生理用品の設置
- 8 保育士増員を求める意見書の提出
- 9 男性育休の促進
- 10 7年間でブログの発信1550回、議会レポート33回、定期的な対話集会の開催でまちづくりを身近に
など多数

さいとう万紀子プロフィール

1981年(昭和56年)9月2日生まれ、羽生市発戸生まれ、発戸在住
家族 車椅子の夫、長男(14歳)、次男(11歳)、両親も近くに在住
趣味 大相撲(テレビ、ラジオで観戦しています。推力士は大の里、若隆景、熱海富士)

- 高田幼稚園卒園
- 井原小学校(現東小学校)卒業
- 東中学校卒業(卓球部に所属)
- 春日部共栄高等学校卒業(ハンドボール部に所属)
- 明治学院大学国際学部卒業(文化人類学を専攻)
- 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科修了

中学生の時、国語の教科書の作品がきっかけで、世界各地域に独自の文化に興味を持つ。大学ではエクアドル、フランス、フィリピンなどでフィールドワークを行い、22歳の1年間はオーストラリアでファームステイをしながら「持続可能な暮らし方(バーマカルチャー)」を学ぶ。



- 2005年～海外の経験で「身体が資本」と感じ、働きながら国家資格(柔道整復師)を取得。鍼灸師の夫と出会い結婚
- 2012年～子育てをしながら、環境活動、まちづくり活動に携わるようになる
- 2019年 夫が難病となり、後遺症で車椅子の生活に。2歳と5歳の子どもを抱えての家族の看護の経験から、「いざという時に支えあえるまちに」したいと願い、市議会議員選挙に挑戦し、初当選
- 2023年 2期目の当選、総務文教委員長、議会改革特別委員会副委員長、加須市・羽生市水防事務組合議会議員、行田羽生資源環境組合議会議員などを歴任

ともにつくろう! 羽生新時代!!

人口減少・少子高齢化を食い止める!!

私の大好きなまち、羽生市。高校卒業後、一度羽生市を離れたからこそ、豊かな田んぼや広い空、文化と伝統が息づく羽生市のすばらしさを強く感じています。けれど、羽生市は現在「大きな岐路」に立っています。2000年に5万8千人を超えていた人口は四半世紀で激減し、現在は5万3千人台。合計特殊出生率0.86(2025年度)という数値は極めて深刻であり、児童生徒数はピーク時の47.8%まで落ち込んでいます。羽生市を未来につなげていくことが、現役世代としての私の責任です。この政策集は、皆さんの声をもとに作成しました。これからも、共に羽生の新しい未来を創っていきましょう。



- 政策** 0～2歳児の保育料の無償化と支援の拡充!
子育てしやすい羽生にする
- 政策** 「のりあいタクシー」の制度改善と
利用しやすいバスの整備!
移動の不安を解消し誰もが移動しやすいまちへ
- 政策** 月1回のタウンミーティングを開催!
市民の声をまちづくりに反映
- 政策** 事業の優先順位を明確にし暮らしを支える財源を生み出す!
物価高対策の実行

決意! 市長報酬の削減

90.5万円/月 → 45万円に。

50%カット!

1年間で546万円 1期4年間で2,184万円 削減となります。

物価高で暮らしが厳しいというたくさんの方の声が寄せられています。羽生市の厳しい財政状況のなか、市民に寄り添う姿勢を形とするため、まずは自分自身が身を切る覚悟で市政に向かい、市長報酬を削減します。 ※市長のみの削減です。

LINE
さいとう万紀子



羽生市復活! 魅力と活気のあるまちへ

政策 「安心して産み、学ぶ力を育むまち」への転換! 他市に負けない子育て・教育支援

0～2歳児の保育料の無償化と支援の拡充

- 「おむつ券・ミルク券」に加え、「羽生産米30キロ券」の配布
- 小さいお子さんと過ごせる場所の充実とともに、リストやマップも作成
- 産前・産後ヘルパーを拡充し、子育てをサポート
- 3歳未満児の保育料支援

教育環境の劇的改善

- 小中学校の給食費完全無償化
- 小中学校の体育館へのエアコン設置とトイレの洋式化の推進
- 高校・大学進学時の給付型奨学金の充実
- 学習支援員・校務員を増員し、教員が子どもと向き合う時間の確保
- 校内フリースクールを設置し、不登校児童・生徒の居場所の確保
- 子ども・若者の声をまちづくりに反映

政策 安心して暮らせる地域を未来につなげる! 地域・防災

- ゲリラ豪雨など雨水対策の推進
- 道路の整備に素早く対応
- 街灯を増やし道路を安全に
- 豊かな自然を守りネイチャーポジティブの推進を
- ペットと一緒に避難できる場所の確保
- ゴミの分別や騒音など外国籍の方へのルール徹底と毅然とした対応
- 空き家対策の強化、空き家をつくらない仕組みづくり
- 田んぼダムで河川流域の水害の軽減に取り組む
- 免許取得補助など消防団員への支援拡充

政策 いくつになっても安心なまちの実現! 福祉・健康・移動の保障

高齢者の「移動の不安」を解消し、だれもが移動しやすいまちを構築します。

- 公共交通の充実と日常支援強化
- のりあいタクシーの制度改善で帰りの不安を解消
- 高齢者のゴミ出しや買い物支援

シニアの活躍

- 「シニア人材バンク」を設立し、短時間のしごとや有償ボランティアを拡充
- 敬老の日のお祝いの再開、交流の場を増やす

誰ひとり取り残さない福祉

- 障がいを持った方の居場所や働く場の創出
- 医療的ケア児への支援の拡充と理解の促進

政策 必要な取り組みに必要な予算を! まちづくり・文化

- 事業の優先順位を明確にし、暮らしを支える財源を生み出す
- 時代に合わせた自治会活動の見直しと負担の軽減
- 定期的な対話集会で市民の声やアイデアを生かす
- 市の情報を分かりやすく、届きやすく
- 行政手続きのオンライン化の推進
- 中学生、高校生の勉強する場や放課後の居場所作り
- 音楽活動や文化活動へのサポートの拡充と発表の場の確保

政策 働く場と賑わいの創出による定住促進! 産業・経済の活性化と物価高対策

地場産業と商店街の活性化で経済と暮らしの底上げを。

羽生の魅力を活かし、若者が働きたくなるまちへ

- 「藍染め」と「被服のまち」の高い技術を活かし、藍染め製品を世界へ発信
- 国や県と連携し、羽生駅東口、羽生インターチェンジ前の開発を確実に進める
- 空き店舗の活用や民間との連携強化で、中心市街地の活性化

物価高対策

- 水道基本料金の無償化や生活応援商品券の配布で暮らしに寄り添う
- 事業の優先順位を明確にし、暮らしを支える財源を生み出す
- 月額90.5万円の市長報酬を半分に削減する

稼ぐ農業と景観を守る農業の両立

- 新規就農者への農機具貸出制度の創設
- 温暖化に対応した品種の導入や特産品のブランド化を支援
- ソーラーパネル設置については抑制区域を設定

実行します!
守ります!
寄り添います!



地域での対話集会、半年で20回超! まちづくりアンケート回答240件!
皆さまの声をカタチにした政策です

市民の
皆さまの声

地域別課題にもしっかり寄り添います!

- 「移動の不安」「買い物に不便」 三田ヶ谷、村君、井原地区
- 「居場所の少なさ」 川俣、羽生、新郷地区
- 「店がない」 井原、手子林地区
- 「公共施設の老朽化」「学校の再編成」 新郷地区
- 「子どもの遊び場の少なさ」 若嶽、須影地区
- 「空き家の増加」 羽生、村君、川俣地区
- 「歩道の危険性」「通学路の危険性」 須影、羽生地区

月1回のタウンミーティングで
地域の課題に寄り添い、
暮らしやすい羽生市へ

これからもあなたの声をお聞かせください!

